

平成28年度墨田区立吾嬬第二中学校経営報告書

平成29年3月13日

学 校 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、正しい判断のできる生徒 (自ら進んで学習に取り組み、よく考え、判断して行動することができる生徒を育てる。) ・思いやりのある生徒 (人と協力し、何事にも一生懸命になれ、人間関係が上手に築ける生徒を育てる。) ・心身ともに健康な生徒 (自らの健康管理ができ、自分自身を大切にしながら、体力向上に取り組む生徒を育てる。)
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心と健康な身体を育む学校(心の教育・健康教育の充実) ・確かな学力の定着と向上をめざす学校(基礎・基本の定着と徹底) ・保護者や地域住民の信頼に応える学校(開かれた学校づくりの推進)
目指す子供像	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を身に付け、人権を尊重し相互に高めあう心豊かな生徒 ・毎日・毎時間の授業に集中し、各教科の基礎・基本を習得する生徒 ・心身ともに健康で、困難なことにも粘り強く最後までやりぬく生徒
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが好きで、教えることを誇りとし、生徒に目を向けて教育活動を展開する教師 ・高い識見と豊富な知識を有し、生徒の人間性を高めるべく教育活動に取り組む教師 ・教育公務員としての自覚と責任の上に、自己の資質の向上のための研修に励む教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	C	・各教科でねらいを明確にした授業、振り返りの時間を意識した授業づくりを継続し、ICTの効果的な活用も図る。	B	B
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	B	・校内特別支援教育推進委員会を中心に、組織的な支援を実施し、学校支援指導員の活用を図る。	B	B
	学校は、子供の将来の自立に向けた教育活動・相談活動に取り組んでいるか。	B	・外部機関や外部人材を活用した取組を引き続き実施していく中で、生徒の自立を図っていく。	B	B
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	C	・分かる授業や達成感のもてる授業を目指し、計画的・意図的な指導を実施していく。 ・校内でのOJTを通して指導力・授業力を高める。	B	B
	家庭学習習慣の確立を図るよう指導しているか。	C	・学年単位で家庭学習を意識した課題や宿題をに出すことや定期考査への計画的な学習を指導することにより習慣化を図る。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	・家庭とも協力し、学習に対する生徒の自覚が高まるよう取り組んでほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	・定例の生活指導連絡会により、情報共有を密に行い、課題への早期対応を今後も進める。	B	B
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	・基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を繰り返し粘り強く行っていく。人権尊重教育とともに道徳授業を中心としながら望ましい人間関係を構築する指導を継続していく。	B	B

様式 4

	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	・安全教育の指導計画に従い生徒の安全確保の取組を、引き続き着実に実施していく。	B	B
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立てているか。	B	・生徒、保護者、関係者のアンケートから意見や要望を収集し改善するとともに、必要に応じて関係機関と連携し迅速な対応を行っている。	B	B
	人権尊重教育を推進しているか。	A	・人権尊重教育推進校として、引き続き年間指導計画に沿った指導と取組を実施していく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	・校内だけでなく校外でも、あいさつやマナーがしっかりとしている生徒を学校と地域が協力して育てていきたい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針をもとに、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	・校長の経営方針を受け、副校長が要となり、組織的な学校運営を行い、教育活動をPDCAサイクルを意識して計画的に行っていく。	B	B
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	・学校の教育目標や校長の経営方針の具現化に向け、学年経営や学級経営での目標を明確にして、教育活動の充実と改善を進めていく。	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	・校庭の改築工事により引き続き教育活動の環境は不十分であるが、生徒の安全・安心を第一に、全教職員でよりよい教育活動の確保を行っている。	B	B
	校舎全面改築期間中の学習環境・教育活動環境の確保しているか。	B	・生徒の学習環境の確保を第一に、教育委員会や関係機関との連携を密にすることで、工事期間中の教育活動環境の確保に努める。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	・工事期間中であっても教育活動環境が確保されるよう努力してほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	・学校ホームページの更新や学校だよりや学年だよりの発行を継続していき、学校や生徒の様子を保護者・地域の方々に広く伝えていく。	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	・教職員が保護者や地域の方々とかかわる機会を増やすことで、学校教育についての理解を図っていく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	・学校、PTA、地域が連携した取組を行いたい。			

様式4

2 平成28年度学校評価のまとめ

- ・保護者アンケート、地域アンケートともに、肯定的な回答が75%近くのものが多く、今年度の教育活動について一定の評価を得た。
- ・学習面での評価が相対的に低く、課題がある。「忘れ物をしない」「静かに話を聞く」状態から「自ら進んで学習する」「意見や考えを積極的に伝え合う」というような主体的な学習態度を身に付けるよう指導を工夫させていきたい。
- ・PTA、地域との連携をもとにした教育活動を実施していきたい。

以上の通り報告いたします。

墨田区立吾嬬第二中 学校長 渋谷 俊昌

